

異劇団昂公演

ひょう

評

The Verdict

'by arrangement with
Josef Weinberger Plays
Limited, London'

正義を貫くとは何か
法廷での老練な弁護士との対決、
として裏切り。
男はもの言わぬ被害者に代わり、
陪審員に語りかける。
1982年に映画化され
世界的なヒットとなった
ベストセラー小説の舞台化、
迫真の法廷劇。

構成／演出 ● **原田一樹** (劇団キンダグレース)
訳 ● **永田景子／原田一樹**
脚色 ● **マーガレット・メイ・ホブス**
原作 ● **バリー・リード**

Cast
宮本充 ○ 伊藤和晃 ○ 金尾哲夫 ○ 金房求 ○ 石井ゆき
永井誠 ○ 市川奈央子 ○ 北川勝博 ○ 林佳代子 ○ 高山佳音里
立花香織 ○ 矢崎和哉 ○ 脇坂晴菜 ○ 加藤和将 ○ 落合徹

決



～ 暮らしの中に演劇を ～

宮崎市民劇場

第202回例会

2026年5月31日(日)

開演17:00 (開場16:30)

会員制 入会金・月会費 (大人2500円・学生1500円)

会場: 宮崎県立芸術劇場 演劇ホール (メデキット県民文化センター)

問い合わせ ☎880-0805 宮崎市橘通東 3-3-8 カプトビル3F 0985-62-0075

評

'by arrangement with
Josef Weinberger Plays
Limited, London'

構成・演出 ● 原田一樹 (劇団キングダース)

訳 ● 永田景子 / 原田樹

脚色 ● マーガレット・メイ・ホブス

原作 ● バリー・リード

決

けつ



● 落合 徹



● 加藤 和将



● 脇坂 晴菜



● 立花 香織

宮本充 / フランク・ギヤルビン

金尾哲夫 / エドガー・コンキヤノン

伊藤和晃 / エルドリッチ・スウィーニー 判事

金子由之 / モー・カッツ

石井ゆき / ミセス・マグデッド、他

北川勝博 / プロファイ 司教

金房求 / トンプソン 医学博士

林佳代子 / ドナ・セント・ロレント

高山佳音里 / メアリー・ルーニー 看護師

永井誠 / レクスフォード・タウラー 医学博士

平林弘太郎 / ユージーン・ミーハン

市川奈央子 / ナタリー・ストンパナット、他

宮島岳史 / ダニエル・クラウリー 医学博士

吉澤恒多 / グルーバー 医学博士、カラハン書記官

矢崎和哉 / ティッピー、他

立花香織 / ヘギートミ、他

加藤和将 / 落合徹、脇坂晴菜 / アリート、フリードマン、司祭 他

美術 ● 石原敏 ○ 照明 ● 古宮俊昭 ○ 衣裳 ● 仲村祐妃子 ○ 音響 ● 藤平美保子
舞台監督 ● 道場禎 ○ 絵 ● 北沢夕雲 ○ 宣伝美術 ● 真家亜紀子 ○ 制作 ● 劇団昇

▶ 九演連の皆さまへ ◀

1982年のヒット映画「評決」の原作小説。実際に作者が弁護士時代に経験した全米を驚かせた裁判の出来事が元になっています。それを舞台化した戯曲を2018年昇が本邦初演。21年に大幅に場面を再構成し、好評を得た舞台。医療過誤で植物状態となり横たわる女性。その病室を訪れた時、落ちぶれた弁護士の心に火が灯る——人間の尊厳として正義を問う、昇と演出家・原田一樹が描く迫真の法廷劇!ご期待ください!



● 宮本充 ● 金尾哲夫 ● 伊藤和晃 ● 金子由之 ● 石井ゆき
● 北川勝博 ● 金房求 ● 林佳代子 ● 高山佳音里 ● 永井誠
● 平林弘太郎 ● 市川奈央子 ● 宮島岳史 ● 吉澤恒多 ● 矢崎和哉

story

今は落ちぶれ酒浸りの日々を送る弁護士ギヤルビン。ある日出産で入院した女性が麻酔時のミスで植物状態になったという事件を引き受ける。多額の和解金で穩便に済ませようとする病院側。示談金をいただき早々に済ませようとしたギヤルビンは昏睡状態の女性の病室を訪れる。そこで彼が見たものは……